

11月23日 ニューギニア日食観測隊の概要

大 越 治

1984年11月22～23日の皆既日食は、ニューギニア・ニューカレドニア共に好天に恵まれ、それぞれに成果があがったようです。ここでは、ニューギニアに出かけた人々がどのような観測を行なったかを、簡単に紹介しておきましょう。くわしい内容は、この日食情報が発行されるころ、報告書が出ますので、そちらを参照して下さい。

氏 名	主 な 観 測 事 項	主な観測機材
道家 寧	・ネガカラーによるコロナの撮影 ・本影錐の移動	・600mm望遠レンズ ・18mm広角レンズ
宝田 和弘	・コロナの撮影	・500mmRF望遠レンズ
畑 一夫	・コロナ、ダイヤモンドリングの撮影	・200mm望遠レンズ
山本 友治 早苗	・コロナの撮影と肉眼観測	・望遠レンズ
篠 友三	・フラッシュスペクトル	・8mmカメラ
松山 広史	・ネガカラーによるコロナの撮影 ・皆既中の星野 ・気温の測定	・TS-P型 ・35mm広角レンズ
室伏 礼子	・コロナの撮影	・FC-50
天野 明	・コロナの撮影	・155mm反射経緯台
大越 治 和子	・ハンドヘルドコンピュータによるカラースチールの半自動撮影と偏光撮影 ・8mmによる日食の全経過撮影	・FC-50 ・8mmカメラ

武者小路知行 (谷川政敏)	<ul style="list-style-type: none"> ネガカラーによるダイヤモンドリング、コロナの撮影 全天写真 5秒おきの全天写真による本影錐の移動 	<ul style="list-style-type: none"> FC-50 魚眼レンズ ケンコー魚眼アダプタ
武者小路洋子 友美・知洋	<ul style="list-style-type: none"> 肉眼観測 	
山下 俊樹 和代	<ul style="list-style-type: none"> コロナ、プロミネンスの撮影 	<ul style="list-style-type: none"> 900mm望遠 750mm反射望遠
渋谷 誠一郎	<ul style="list-style-type: none"> ニューカークフィルターによるコロナ撮影 ハンドヘルドコンピュータによるカラースチールの自動撮影 	<ul style="list-style-type: none"> TS-5cm 500mmレフレックス
伊藤 広明	<ul style="list-style-type: none"> コロナ、ダイヤモンドリングの撮影 	<ul style="list-style-type: none"> FC-65
真砂 礼宏	<ul style="list-style-type: none"> コロナ、ダイヤモンドリング、部分食の撮影 	<ul style="list-style-type: none"> ニコン6.5cmED屈赤
綿貫 博孝	<ul style="list-style-type: none"> 部分食、コロナの撮影 フラッシュスペクトル 	<ul style="list-style-type: none"> FC-50 200mm×2テレプラス
円崎 剛	<ul style="list-style-type: none"> コロナ、ダイヤモンドリングの撮影 	<ul style="list-style-type: none"> 200mm×2テレプラス
木村 精二	<ul style="list-style-type: none"> 皆既時間と接触時刻の測定 	<ul style="list-style-type: none"> ビデオカメラ、8mm
木寺 早人	<ul style="list-style-type: none"> ネガカラーによるコロナ撮影 	<ul style="list-style-type: none"> 200mm×3テレプラス
蟻川 正吾	<ul style="list-style-type: none"> 皆既中の星野 	

このリストは不完全なものですので、誤りはすべて筆者の勘ちがいによるものです。前述のように、詳しくは報告書をごらん下さい。